



文部科学大臣賞受賞

★★★★★

★★★★★

ぼくは不幸な怪我で
多くのものを失ったが

友達や家族

いろいろな人達の

あたたかい

思いやりや親切に感謝している

そして

病院の先生方のおかげで

やや自由をとりもどし

美しい青空を見た時の喜び

優秀映画鑑賞会推薦

厚生省中央児童福祉審議会推薦

映倫青少年映画審議会推薦

青少年育成国民会議推薦

大阪府教育委員会推選

命

の尊厳を描いた

感動の名作です

感動の名作です

感動の名作です



ぼくに 涙はにあわない

文部科学省特選

自分の手で缶ジュースを飲めた感動

いま、ぼくは

生きていることの素晴らしさを

皆と語りあえる

教育映画祭

最優秀作品賞受賞

- 企画 奥井明/岡田卓/中川正幸
- プロデューサー 菅田浩/八頭司重信/横手勝弘
- 協力 藤田保健衛生大学病院/愛知県立丹羽高等学校/エフエー出版/アトリエ・エコー
- 制作 共和教育映画社
- 制作協力 映画村エンタープライズ/宝塚映像株式会社



千賀康司原作

野川由美子

森田正明

南田洋子

睦五郎

武田京子

野口ふみえ

東風平千香

大木晴郎

三品守

桂きん枝

長門裕之

製作・八頭司享

- 撮影 羽田辰治
- 照明 谷口義治
- 録音 竹中直
- 編集 山口雪路
- 記録 岡崎洋子
- 美術 福田弘
- 音楽 森琢磨
- 脚本 高橋 稔



文部科学大臣賞受賞

★★★教育映画祭最優秀作品賞受賞★★★

文部科学省特選

ぼくに 涙はにあわない

原作／千賀 康司

製作／八頭司 享

監督／黒田 義之 脚本／高橋 稔 音楽／森 琢磨



撮影	■ 羽田辰治	照明	■ 谷口義治
録音	■ 竹中直	編集	■ 山口雪路
記録	■ 岡崎洋子	整音	■ 湯浅重雄
美術	■ 福田弘	スチール	■ 福井孝雄
製作主任	■ 高山徳太	助監督	■ 加賀城英明

上映時間 50分

これは実際にあったことを基にして作られた物語です!!

高校時代、ラグビーの試合中、不幸にも首の骨を折り、手足の自由を奪われ、悲しみのどん底から、新しい可能性に向けて、一つ一つ挑戦、前進していく一人の高校生を描いた力強い感動の作品です。

ものがたり

1985年5月5日、試合は準決勝。勝てば県大会への出場権が獲得できる。チームの意気は盛り上がっていた。

だがその時、一瞬の油断が大きな事故につながってしまった。僕は、ボールをキャッチし敵陣へ突っ込み、倒れこんだ……その上に何人もの選手が折り重りボキボキという音がした。救急車で近くの病院に運ばれ、検査の結果、脊椎の四番目と五番目の骨が折れていることがわかったのです。医師「この怪我は現在の医学ではどうすることも出来ません。一生寝たきりの生活になるでしょう」母はあまりの衝撃で、倒れそうになっていた。

僕の体は、しびれて動かなかったが、意識ははっきりしていた。「病院をぬけだして次の試合には出てやるぞ」そう思っていたぐらいだった。

しかし、命にかかわる大きな怪我と知らされ、三日目、名古屋市の郊外にある、藤田保健衛生大学病院へ転院した。そして、すぐに手術がはじまり、折れている首の骨をワイヤで固定し、悪くなるのを防ぐのです。

手術後、病室では首を動かさない為、5月の美しい青空を見ることも出来なかった。見えるのは、たった一つ部屋の天井だけでした。

10月になり、すこし自由をとりもどし、個室から大部屋に移ることになりました。部屋の人は皆いい人で、苦しんでいるのは自分だけでないこともわかりました。そして、いままで閉じこもっていた心の窓が開かれていくようでした。

しかし、体を自由に動かすことの出来ない僕は、気持ちのいら立ちをおさえることができず、いつも母にあたり、困らせていた。

そんな時でも、母は僕の前では、絶対に哀しい顔を見せなかった。でも、どこかで、一人哀しく泣いているのがわかり、僕は、「かあさん、ごめんね」と心の中であやまっているのでした。

又、長い病院生活の中で先生方や看護師さんも、良くしてくれました。

4回の手術はきつかったが、リハビリはもっと辛かった。同じ事を、何回も何回も繰り返し、何度も挫折しかかった。そんな時、「自分の手で物をつかむんだ。」「自分の手でジュースを飲むんだ。」と、自分に言い聞かせ毎日を頑張った。その努力が実り、リハビリしてから2ヶ月——。自分の手で缶ジュースを飲むことが出来た。僕は、ほんとうに嬉しかった。先生も、皆も心から喜んでくれた。

そして、車いすにも乗れるようになり、3年遅れで丹羽高等学校に復学することが出来ました。

教室は、普通三年生は3階か4階ですが、僕が車いすの為、1階でそれも一番角の教室でした。それでもクラスの皆は文句も言わず、あたたかく迎えてくれました。体調が悪い時など、僕の面倒を良くみてくれた。家族も毎日が大変だった。僕の為に一年間2人ずつ交代で送り迎えをしてくれた。そして、とうとう卒業式を迎えることができたのです。僕は「仰げば尊し」を力いっぱい歌った。永く苦しかった6年間が甦がえってきた。不幸な怪我で多くのものを失ったが、その代りに、怪我をしななければ、恐らく一生気がつかなかったかもしれない、大切な人の心も知ることができました。「みんな、皆、ほんとうにありがとう。」今、僕は新しい可能性に向けて、挑戦、前進しています。



販売価格 (B) ¥420,000 (V) ¥73,500 DVD ¥73,500 (税込)



共和教育映画社

〒533-0031 大阪市東淀川区西淡路6-4-111 延原倉庫淡路物流センター

TEL 06-6322-1800 FAX 06-6322-2255

URL <http://www.kyowafilm.com> E-mail avl@kyowafilm.com